

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語総合	5	1年・普通科 プログレッシブ	必履修	高等学校 改訂版 国語総合 (第一学習社)	備考欄に記載

学習目標	<p>①中学校の国語教育を踏まえつつ、高校教育の基礎を固め、次のステップへの移行がスムーズにいくよう、基礎的・基本的内容を習得する。</p> <p>②現代文においては、評論、隨筆、小説、詩歌のそれぞれへの読解力を養う。また、読解を通じて表現力、思考力等を高める。</p> <p>③古文においては、用言および助動詞の文法事項を習得し、読解に生かす。読解を通じて古典の背景となる知識などを学びながら、古典への理解を深める。</p>
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代文では、文章が明晰で完結性のある作品を多く取り上げ、生徒に問題意識を喚起させる。</li> <li>* 評論の読解を通じて、文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に理解する力をつける。</li> <li>* 小説の読解を通じて、創造力・感受性を豊かにする。</li> <li>・古文では、古典文法の基礎知識を学び、各作品の読解方法を身につける。</li> <li>・漢文では、訓読に慣れるとともに、句法の知識をつけ、各作品の読解を通じて漢文への興味・関心を深める。</li> </ul>
評価の観点・規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度…国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。</li> <li>・話す・聞く能力…自分の考えが、根拠から妥当な論理の展開で導き出されていることを相手に分かりやすく示す。また、必要なことを間違いなく過不足なく聞き取っている。</li> <li>・書く能力…書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選んでいる。</li> <li>・読む能力…語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考え方などを間違いなく、過不足なく読み取っている。文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。</li> <li>・知識・理解…伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考查にて「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の度合いを判断・評価する。</li> <li>・提出物(授業中の作業に関わるもの中心)では、「関心・意欲・態度」の度合いを判断・評価する。</li> <li>・漢字の小テストでは「関心・意欲・態度」「知識・理解」の度合いを判断・評価する。</li> <li>・授業への取り組みを通し、「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「度合いを判断・評価する。</li> <li>・総合的に「話す・聞く能力」「知識・理解」「関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」を評価する。</li> </ul>

学期	内容
1 学期	<p>&lt;現代文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の随想に触れ、思考の楽しさ、新たなものの見方について考える。</li> <li>・小説作品を読み、作品が持つ表現の特色をとらえ、感じ方、考え方の幅を広げ、物事への理解を深める。</li> </ul> <p>&lt;古典&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典文章読解を通じ、「古文の読み方」「歴史的仮名遣い」「古語の意味と形」を学ぶ。</li> <li>・古典文法(動詞・形容詞・形容動詞を中心)。名詞・連体詞・副詞・接続詞・感動詞)</li> </ul>
2 学期	<p>&lt;現代文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論読解を通じ、言葉を通しての新たなものに見方に気付き、発想を豊かにする。</li> <li>・小説作品を読み、構成・表現に注意して内容を的確に把握し、小説解釈の多様性を理解する。</li> </ul> <p>&lt;古典&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな古文作品に触れ、重要古語や文法事項を確認しながら、流れを追って古文を読解する。</li> <li>・古典文法(助動詞)</li> <li>・漢文の訓読のきまりを学習し、漢文作品読解を通じ、句法の基礎を学ぶ。</li> </ul>
3 学期	<p>&lt;現代文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論教材を読み解き、論旨の展開を追いかながら、筆者の考え方を理解する。</li> <li>・小説作品を読み、人物の心情把握、主題の考察を行う。</li> </ul> <p>&lt;古典&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな古文作品に触れ、重要古語や文法事項を確認しながら、流れを追って古文を読解する。</li> <li>・古典文法(助詞)</li> </ul>

備考 ・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 副教材 「Key&amp;Point 古文単語330」(いいいづな書店) 「完全マスター古典文法」(第一学習社) 「新常用漢字必携パーカーククリア」(尚文出版)</li> </ul>
-------------------------------------	--